

ミラノより

渥美充代ニュースレター



「新しい始まり・一歩ずつ」
段階的にロックダウン解除となった今月4日から
街でよく見るようになったポスター。
朝日が昇ったあとのまだ誰もいないミラノ大聖堂の広場に
マスクをした若者が歩き始める。
みんなで新しい世界に出ていくんだ、というメッセージを
受け取りました。

一歩ずつ新しい世界へ

イタリアは今月4日からロックダウンが緩和され、ウイルスと共生していくという段階に入りました。4日当日は私も緊張して仕事に出かけましたが、路面電車やバスの中も大きな混乱はなく、比較的落ち着いたスタートとなりました。その日は歩くと汗ばむほど気温も高く、乾いた風が美しく咲くジャスミンやバラの花の香りを運び、季節が確実に変わっていることを肌で感じました。ヨーロッパが最も美しいと言われる5月

に新しいスタートとなる日を迎え外に出ていけることは、神様からの慰めのように思えました。18日からは飲食業のバーやレストラン、そして商店や美容院などもオープンしていき、全員がマスク着用、1mのソーシャルディスタンスを保つという新しい景色ではあっても、街にはイタリアらしい活気が少しずつ戻ってきています。

しかしながら、幼児教育・学校や大学の教育活動は引き続き禁止されており、また経済活動の停滞による国への打撃は非常に深刻な問題となっています。

八日後、弟子たちは再び

家の中におり、
トマスも彼らと
一緒にいた。

戸には鍵がかけられて
いたが、イエスがやって来
て、彼らの真ん中に立ち、

「平安が
あなたがたにあるように」
と言われた。

ヨハネ 20 : 26

真ん中に立たれるイエス

新しいことに順応しようと緊張やストレスがある日々の中で、時間を取り分け主の前に静まりオンラインで礼拝をささげられることは、私たちにとってなくてはならない時間、神様の恵みを共に味わう大切な時間です。

5月17日のオンライン礼拝では、ヨハネの福音書20章のトマスの信仰告白の場面からメッセージをさせていただきました。復活のイエスは、恐れから部屋に鍵をかけ閉じこもっていた弟子たちに現れ、彼らの真ん中に立たれ「平安があなたがたにあるように」と言われます。それから主の復活を信じられないトマスに向かって大きく手を広げて、ご自分が十字架で受けた傷を見せるように「あなたの指をここにあてて、私の手を見なさい。手を伸ばして、私のわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい」と言われるのです。

トマスは、「信じたい」でも「信じられない」という二つの心の中で揺れていました。また他の弟子たちは一週間前に復活のイエスに会って喜んでいたにもかかわらず

お祈りください

- * 会堂の礼拝とオンライン礼拝を、神様から知恵をいただき進めていくことができるように
- * 経済的困難の中にいる者たちの必要が満たされるように
- * 新たな感染から守られるように

ならず、また部屋に鍵をかけ閉じこもっていたのです。イエスは、弟子たちに現れる時決まって彼らの真ん中に立たれました。それは、二つに揺れる心の真ん中、恐れの中、また疑いの真ん中でもあるのです。主イエスは私たちの心の揺れもご存知で、すべてを包み込むように「平安があなたがたにあるように」と手を広げられ、「信じない者ではなく、信じる者になりなさい」と言われます。私自身、ダイレクトに語られる主の言葉に、今一度慰められ、同じ神様が私たちと共におられるのだということに大きな励ましを受けました。トマスの信仰告白が日々の私たちの告白となるように願います。

これからの礼拝

3ヶ月近く閉鎖されていた教会の会堂の礼拝も、現在祈りつつ準備が進められています。しかし、同時に3月から始まったオンライン礼拝では、今まで遠方に住んでいて礼拝に集うことができなかつた方々やヨーロッパの無牧の教会の方々の参加など、新しい交わりが与えられ、神様は豊かに祝福してくださっています。これから会堂の礼拝とオンライン礼拝をどのように持っていくのか、これが教会の新たな課題でもあります。覚えてお祈りいただければ幸いです。

日本では「第二波」という言葉も聞かれ始めていることを知りました。みなさんがストレスからくる体の不調や新たな感染から守られますように。

来るペンテコステの主日に期待をしつつ、主の守りと平安をお祈りしています。

感謝と愛を込めて 渥美充代

いつもイタリア・ヨーロッパの日本人宣教のため、お祈りくださりありがとうございます。また、実際的なサポートをもって神様に応答して下さるお一人おひとりに心より感謝いたします！渥美充代

新宿シャローム教会内
ゆうちょ銀行
口座番号：00190-0-484800
口座名義：渥美充代さんを支える会